

第3章 まとめ 本調査結果を踏まえた今後の課題

本調査では、地域で男女共同参画を推進する各団体等に男女共同参画を推進する上での課題や、必要な方策・支援などを各団体にアンケートにより回答いただいた。また、県内6か所にある地域男女共同参画ネットワークの課題や必要な支援等についても回答いただいた。まとめとして、今後、地域において身近な男女共同参画のすそ野を広げていくために、調査結果を踏まえた主要な課題として、「さらなる支援と人材育成、多様な機関・団体との連携・協力」について、記載する。

1. さらなる支援と人材育成、多様な機関・団体との連携・協力

①人材育成と多様な機関・団体との連携協力

地域で男女共同参画を推進していく団体を対象にした調査により、各団体における課題として、「会員の高齢化」「人員不足・人員減少・人材確保」が課題として多く挙げられた。本県における人口減少や少子高齢化の進行に伴う生産年齢人口の減少などに起因していると考えられる。そのような中、課題の解決策や必要な支援として、「学習機会の確保」「若年層との連携・企画」「広報活動」などが挙げられた。

次世代のリーダー育成、担い手の確保につなげるために、人材育成並びに多様な機関、団体等との連携が重要である。地域の男女共同参画推進には、団体や個人の活動が不可欠である。行政や青森県男女共同参画センターによる地域のリーダー育成や活動推進を支援する事業はまさに「人財」育成であり、積極的な取組が必要である。また、多様な機関や団体との連携についても、行政や当センターが行う事業の中で出会い、つながりができるよう支援していく必要がある。

②アピオあおもり（青森県男女共同参画センター）による支援とネットワークの強化

アピオあおもり（青森県男女共同参画センター）は本県の男女共同参画推進のための拠点施設である。各活動団体は、当センターを各々の活動拠点、学習機会の場として、また当センターが主催する事業への参画、受講など幅広く活用している。

青森県男女共同参画センターが実施する事業の中で、団体間の交流、情報交換等の場づくりが必要である。既存の事業では、「アピオあおもり秋まつり」や「地域男女共同参画ネットワーク活動支援事業」などがある。「アピオあおもり秋まつり」において、団体や参加者との出会い、活動発表、情報共有などを通して、担い手の確保や育成につなげる役割を担うことを念頭に置いて、事業を実施していくよう努める。また、「地域男女共同参画ネットワーク活動支援事業」では、各地域においてネットワークの活動が円滑に進められるよう経済的な支援のほか、行政と団体のつながりや連携を促進できるよう情報共有、意見交換の場づくりに積極的に関わり、支援に努めたい。各地域での個別の支援も大事だが、県内の地域ネットワークの代表者等リーダーが集い、他地域のリーダー等と知り合い、情報共有・交換を通してエンパワーメントする機会は重要である。

人材育成については、女性人材育成事業「あおもりウィメンズアカデミー地域女性リーダーコース」の取組を通して、男女共同参画の推進という目標を共有した参加者が市町村域、ネットワーク圏域等の強いつながりをつくる機会となるよう、受講後のアフターフォローも含めて支援していきたい。複数回行われる受講に加え、当センターの他事業（アピオあおもり秋まつりや地域ネットワーク学習会、意見交換会等）にも参加を促すことで、参加者同士の紐帯をつくり、各々の地域での活動のモチベーションを向上させることと継続的な情報共有のための広域のつながりの中で、新たなつながりをつくる支援もしていきたい。また、既存の男女共同参画関連団体への加入や地域ネットワークへの団体もしくは個人としての加入についても、情報提供等呼びかけを行い、各団体や地域ネットワークにおける人材確保につなげていきたい。

地域ネットワークは、団体や地域ネットワーク加入団体の高齢化、人員減少という課題を受け止め、各団体、機関等が持つ強みや課題を理解した上で、新たなつながりや団体の掘り起こしを当センターなどが持つ各事業の有機的なつながりやネットワーク資源などを活かす。そして、その時々々の目的に応じてつながり、情報共有しながら男女共同参画の課題解決を目指すネットワークとして、力を発揮することも可能になる。また、当センターで女性の人材育成事業はすでに行われているが、性別に関わりなく、男女共同参画の視点を持ち活動をしていく人材の発掘、育成等も有機的に組み合わせ、行っていく必要がある。学習や課題解決のための事業の成果を可視化し、情報発信していくことも重要であり、それぞれのネットワークの強化につながるよう複合的に支援していく必要がある。